

運転中 子どもの動きに 注意しましょう

子どもの飛び出し、高齢者の横断に警戒しましょう
特に、住宅街・通学路・・・目配り、スピードダウン

道路わきの・・・自転車、歩行者に注意しましょう
「かもしれない」運転で、事故を防ぎましょう

事故防止のため 「早めの休憩を」
～2時間走行、15分休憩～

《挟まれ・墜落・転落・下敷き 注意》

運転手は、「雨で時間が押して、気になっていた」 路線バスが乗用車に追突

乗用車の5人軽傷

◇『わき見運転』、『漫然運転』はせずに、危険意識を持って、『運転に集中』しましょう◇

◇時間に余裕を持って運転◇

◇スピードを抑え、車間距離を十分にとりましょう◇

2024/3/26(火)

25日午後6時半ごろ、愛媛県の県道で路線バスが乗用車に追突しました。この事故で乗用車に乗っていた男女5人が首などに軽いけがをしました。バスには乗員乗客あわせて21人が乗っていましたがけがはありませんでした。バスを運転していたのは50代の男性運転手で、警察が詳しい事故の原因を調べています。会社の聞き取りに対しこのバスの運転手は「雨で時間が押して、気になっていた」などと話しているということです。バス会社は「車間距離の確保など基本的な安全対策や運転方法について指導を徹底してまいります」などとコメント。

夜7時 横断歩道のない場所 道路上にいた高齢男性 軽乗用車にはねられ死亡

◇『早朝・夜間』 信号や横断歩道のない場所・・・『渡ってくるかもしれない』、要注意◇

◇夜間、早朝、「人はいないだろう」と・・・漫然と運転することは危険です◇

◇夜間は、歩行者が見えづらくなるので、「ハイビーム」を活用しましょう◇

2024/03/26

25日午後7時12分ごろ、山口県の片側1車線の県道で、直線道路の横断歩道のない場所で、道路上にいた高齢男性(91)が軽乗用車にはねられ、病院へ運ばれましたが死亡が確認されました。軽乗用車運転の男性にけがはありませんでした。警察が、運転手に話を聞くなどして事故の原因を調べています。

帯広 午前3時 酒気帯び運転 飲食店の駐車場から自家用車で出たところ パトロール中の警察官に呼び止められ発覚 小学校の男性教諭が送別会に参加後 「タクシーなどで帰ろうとしたが、混んでいた」

◇飲酒運転 こんなことで、自分の人生を「棒に振ってよいのか」◇

◇飲酒運転・・・平穏な日常を一瞬で悲劇に変えてしまいます◇

2024/3/26(火)

23日午前3時ごろ、帯広市で、小学校の期限付き男性教諭が、同僚の送別会に参加した後、酒気帯び運転で検挙されていたことが分かりました。帯広市教育委員会によりますと、男性教諭は、23日午前3時ごろ、帯広市内の飲食店前の路上で酒気帯び運転をした疑いが持たれています。男性教諭は、検挙される前、22日午後9時半ごろから23日午前3時ごろにわたって、同僚教諭の送別会に参加していました。そして自家用車で帰宅しようとして飲食店の駐車場から出たところを、パトロール中の警察官に呼び止められ、酒臭いことに気づいた警察官が呼気検査を実施。すると基準値の約2倍のアルコール濃度が検出されました。男性教諭は、当時、飲食店3軒で、ビールを中ジョッキ3杯、ハイボール3杯を飲んでいました。また送別会に参加していた同僚は、男性教諭が車で来たことを知っていて、帰りの手段をたずねると、男性教諭は「タクシーまたは代行で帰宅する」という旨の話をしていたということです。帯広市教委は「保護者や地域の信頼回復に向けて、道教委と連携をとって再発防止に取り組んでいく」とコメントし、処分については道教委と相談するとしています。